

[科目名] キャリア形成論		[単位数] 2単位	[科目区分] キャリア科目			
[担当者] 中川 宗人 NAKAGAWA Muneto		[オフィス・アワー] 時間:授業内で掲示する 場所:505 研究室			[授業の方法] 講義(質疑応答・簡単な作業を含む)	
[科目の概要] 「キャリア形成論」では、自らのキャリアについて大学生としてふさわしい形で考えるための基本的な知識と態度を身につけることを目指します。就職活動の準備を目的とするのではなく、社会の仕組みと個人の生き方の関係を理解することを通じて、長期的なキャリアを考える力を養います。 この授業では以上の内容について、教科書を用いて学修していきます。原則として1回につき1章ずつ読み進めていきますので、必ず購入してください。 授業方法は、事前の教科書の予習と、授業内での内容確認を組み合わせで行います。具体的には、授業前に指定の章を読み、内容を自分の言葉でまとめ、わからなかった部分はチェックしておきます。授業内では、教科書の内容を理解しているか、質疑応答を通じて確認していきます。この理解確認は、正確な知識の暗記ではなく、教科書や授業内容を理解し、自分なりに考えようとしているかを確認することを目的とします。個人だけでなくグループでの作業を行う場合があります。						
[「授業科目群」・他の科目との関連付け]・[なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか] ・大学基礎演習で学んだことを学問的にも掘り下げることができます。 ・社会生活、学生生活に幅広く役立つ知識を学ぶことができます。 ・経営、経済、地域を考えるための基本的な知識を学ぶことができます。						
[科目の到達目標] ・自らのキャリアについて、大学生にふさわしい形で考えることができる。 ・現代日本社会におけるキャリアを考えていくうえで必要な基本的な知識・情勢を説明することができる。						
[ディプロマ・ポリシー(DP)との関係]						
学部				学科		
DP1	DP2	DP3	DP4 ○	DP1	DP2	DP3
[学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫] ・しゃべるスピードや音量についての希望が多かったので、聞き取りやすい説明を心がけます。 ・LMSでの資料の配布など、事前・事後の学修がしやすい工夫を行っています。						
[教科書] 西村純子・池田心豪編(2023)『社会学で考えるライフ&キャリア』中央経済グループパブリッシング						
[指定図書] なし						
[参考書] なし						
[前提科目] なし						
[学修の課題、評価の方法](テスト、レポート等) 授業中にランダムに実施する「理解確認課題」への提出状況を、出席・参加状況の確認に用います。正当な理由なく、これらへの参加が一定水準に満たない場合は、成績評価の対象外とすることがあります。理解確認課題は、教科書の事前読解および授業内での議論の理解度を確認することを目的とします。なお、授業内での発言そのものは個別に点数化しません。 成績評価は、授業内「理解確認課題」30%、「期末テスト」70%の割合で行います。						
[教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望] 教科書の指定範囲を事前に必ず講読したうえで、授業内では積極的に思考・発言することが求められます。これらが難しい場合は単位取得が困難となりますので、計画的な履修を行ってください。 授業内での作業に配慮が必要な場合は、教務を通じて相談してください。						
[実務経歴] 該当なし						
授業スケジュール						

第1回	<p>テーマ(何を学ぶか): ガイダンス</p> <p>内 容: 授業の進め方、成績評価について説明します。履修予定者は必ず出席すること。</p> <p>教科書・指定図書</p>
第2回	<p>テーマ(何を学ぶか): 資本主義社会日本で働くということ</p> <p>内 容: 日本の資本主義社会で働くということ、日本的雇用慣行の形成(黎明期:1945年-1950年代)、雇用システムの形成(1960年代-1980年代)、経営環境の変化と雇用システムの転換</p> <p>教科書・指定図書 第1章</p>
第3回	<p>テーマ(何を学ぶか): 福祉社会日本で生きるということ</p> <p>内 容: 誰と助け合って生きていくか、日本における社会保障・社会福祉の形成、リスク社会を生きる、縮小する福祉社会を生きる</p> <p>教科書・指定図書 第2章</p>
第4回	<p>テーマ(何を学ぶか): 階層社会日本で生きるということ</p> <p>内 容: 格差社会とライフコース、社会階層論の基本的な考え方、高度経済成長期と社会階層、近年の階層構造の変化、階層構造の変化とライフコース</p> <p>教科書・指定図書 第3章</p>
第5回	<p>テーマ(何を学ぶか): なぜ就活をしないといけないのか</p> <p>内 容: 新卒一括定期採用という謎、日本型雇用システムと大衆教育社会、「失われた20年」と新卒採用、横並び型「シューカツ」のゆくえ</p> <p>教科書・指定図書 第4章</p>
第6回	<p>テーマ(何を学ぶか): 異動や昇進はしなくてはならないのか</p> <p>内 容: 昇進・異動をめぐる企業と人、長期雇用と昇進・異動、昇進・異動の変化と企業内キャリア、昇進・異動とキャリアの選択</p> <p>教科書・指定図書 第5章</p>
第7回	<p>テーマ(何を学ぶか): 転職・独立という選択肢</p> <p>内 容: 会社を辞めるという選択、高度経済成長期の転職と自営業、安定成長期以降の転職と自営業、これからの転職と独立</p> <p>教科書・指定図書 第6章</p>
第8回	<p>テーマ(何を学ぶか): ずっとパート・アルバイトではいけないのか</p> <p>内 容: 非典型雇用と非正社員、正社員と非正社員、雇用システムと非正社員の基幹化、正社員と非正社員のキャリアのちがひ</p> <p>教科書・指定図書 第7章</p>
第9回	<p>テーマ(何を学ぶか): なぜ貧困は生きづらさにつながるのか</p> <p>内 容: 日本に貧困はあるのか、こうして貧困から抜け出した、こうして貧困がまた生まれた、貧困にどう立ち向かうのか</p> <p>教科書・指定図書 第8章</p>
第10回	<p>テーマ(何を学ぶか): 地域に密着して働くことは楽しい?</p> <p>内 容: 地方移住やコミュニティへの注目の高まり、拡大と成長の時代、拡大と成長の時代の終焉、おわりに</p> <p>教科書・指定図書 第9章</p>
第11回	<p>テーマ(何を学ぶか): 未婚のままではいることは気楽か</p> <p>内 容: 未婚期間の長期化と親子関係の変化・リスク、結婚適齢期からの解放とパラサイト生活、重なり合う親子のライフコースとキャリア選択、リスク社会における個人の自立と格差</p> <p>教科書・指定図書 第10章</p>
第12回	<p>テーマ(何を学ぶか): 結婚は幸せか</p> <p>内 容: 近世の結婚から「近代家族」へ、「結婚＝幸せ」の時代、「結婚＝幸せ」への疑問、これからの結婚を考える</p> <p>教科書・指定図書 第11章</p>
第13回	<p>テーマ(何を学ぶか): 親になるということ</p> <p>内 容: 「母親らしさ」「父親らしさ」って何?、出産と子育てのための(異性)結婚、女性カップルの子育て、親になることの多様性</p> <p>教科書・指定図書 第12章</p>
第14回	<p>テーマ(何を学ぶか): ひとり親として日本社会をどう生きるか</p> <p>内 容: はじめに、ひとり親家庭を「例外」とする日本社会、ひとり親家庭が経験する困難、離婚を「不幸」につなげない社会を作るために</p> <p>教科書・指定図書 第13章</p>

第 15 回	テーマ(何を学ぶか):働きながら親の介護をすること 内 容:年老いた親の介護は誰が担うのか、女性にとっての介護問題、多様化する介護問題、柔軟な発想で介護に対応することが重要 教科書・指定図書 第 14 章
試 験	筆記・選択肢式:実施方法は授業内で説明します。